

■ 関係機関協議への活用

【実施内容】

BIM/CIMモデルを対外説明（関係者協議、住民説明、広報等）に活用した。

【効果】

- ①完成イメージの共有が容易となった。
- ②地域住民にはリーフレットの配布、来客者には"ARアプリ"で説明を行ったことで広報活動に繋がった。

【必要スキル】

- ①3次元CADの操作
- ②VR・AR・MRの作成・投影技術



説明状況



1. 工事名	令和4年度富山県道第10号外環状工事
2. 工事場所	新加地区と幸ノ川地区を結ぶ
3. 工期	令和5年4月1日～令和6年1月31日
4. 発注者	四国地方整備局 中村河川国道事務所（佐賀大分監理官事務所）
5. 請負者	株式会社 土保建設
6. 工事数量	【新加地区】 道路土工 1式 L=280 また、山に登れるように急勾配を設けます。 【幸ノ川地区】 排水構造物 1式 伊予木川への影響が無いように排水施設を 地下で、必要ならなられた施工を順次施工し 大断面の対応を行います。 既設工 流道が多い場合は排水溝を配置して安全に確保します。
7. その他	工事中の工事内容等のご不明な点についてのお問い合わせは、 大型特殊車両の搬入、搬出は通行許可申請により通行時間 進入出入口で待機して移動は作業時間に行ないます。

説明資料

■ 完成イメージの共有

【実施内容】

築堤と水路の3次元モデルをARにより現地に投影し、完成後のイメージを共有した。

【効果】

地域住民への説明時、ARを活用したことでイメージ共有が容易となり、円滑な協議が可能となった。

【必要スキル】

- ①3次元CADの操作
- ②VR・AR・MRの作成・投影技術



説明状況



ARによる施工水路と墓地通路の確認